

令和7年度 第1回学校運営協議会議事録

- 1 開催日時 令和7年4月24日(木)
開会：午後3時 閉会：午後4時
- 2 開催場所 静岡県立三島南高等学校 会議室
- 3 出席委員数 5人
- 4 校長挨拶
 - (1) 学校運営協議会制度の概要説明
 - ア 保護者や地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画するための制度である。
 - イ 合議制の機関として話し合っ一定の結論を見出す。
 - ウ 学校と学校運営協議会は「対等な立場」である。
 - エ 学校経営計画のうち、「目指す学校像」に関する事項は協議会の承認を得なければならない。
 - オ 学校運営協議会は校長又は教育委員会に意見を述べることができる。
 - (2) 学校の様子
今年度207人の新入生を迎えスタートした。入学式やガイダンス、遠足を終え通常授業が始まった。今週から面談読書週間ということで、昨年度から日程を2日増やして、じっくり担任と生徒の二者面談を行っている。また、先週末からインターハイ予選や函嶺祭の準備も本格化してきている。
- 5 運営委員の紹介 (各分掌課長・学年主任自己紹介)
- 6 運営協議会委員の紹介 大嶋 孝博 (学校運営に資する活動を行う者)
山下 巖 (学識経験者) *欠席
植野 博美 (地域住民)
岩田 喜佐恵 (学校運営に資する活動)
寺村 智穂 (保護者)
宮内 真紀 (保護者)
- 7 役員選出 会長 大嶋 孝博 副会長 岩田 喜佐恵
- 8 会長挨拶
この協議会は、「学校の最大の応援団」でありたいと思っている。なるべく学校がやりたいことを後押ししていきたい。保護者目線や地域目線など、学校とは違った

視点で、様々な分野の委員の皆様からの忌憚のない意見をお願いしたい。

9 議案の審議状況及び議案別議決の結果

第1号議案 令和7年度学校経営計画書（案）

校長から令和7年度学校経営計画書（案）について内容説明を行った。

(1) スクールミッション

課題発見し（知）、他者と連携・協力しながら（仁）、課題解決に向けて行動する（勇）」の力を身に付ける教育を通して、主体的に学んで自らの人生を切り拓き、地域に貢献する人材を育成することを目指している。

それに基づいて、スクールポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、グラデュエーションポリシー）を設定している。

(2) スクールポリシー具現化の柱

カ「グローバルな視点で考え行動し、社会で活躍できる自律的な生徒を育成する。」
今年度は「自律的な」という文面を追加した。

(3) 本年度の取組目標・達成方法（変更点を中心に説明）

ア「基本的な生活習慣を身につけ、常に自覚ある行動ができる生徒を育成する。」
達成方法に「カジュアルデーの継続」を追加した。

イ「学習に主体的に取り組み、学びを深めようとする生徒を育成する。」

成果目標の「年間6冊以上本を読んだ生徒前年度以上」から「一斉読書活動に前向きに取り組んだ生徒70%以上」に変更した。

ウ「自らの進路や生き方について深く考え、それを実現できる基礎的能力・学力を有する生徒を育成する。」 変更なし。

エ「特別活動や部活動を通して、心身ともに健康で人間性・社会性が豊かな生徒を育成する。」

今年度から部活動の加入を任意とした。学校としては、教育課程外の活動に取り組む価値や意義などを生徒に伝え、できるだけ加入を促していきたい。

オ「芸術に関する授業や行事等を通して完成を培い、表現力豊かな生徒を育成する。」 変更なし。

カ「グローバルな視点で考え行動し、社会で活躍できる生徒を育成する。」

成果目標「国際交流に積極的に参加したい生徒50%以上」から「機会があれば国際交流に参加してみたい40%以上」に変更した。

キ「学校運営協議会を通して地域連携を深め、地域課題の解決を目指す教育活動を行う。」 変更なし。

ク「生徒の健康・安全を第一に考え、安心・安全な学校づくりを徹底する。」

変更なし。

ケ「教職員自らが資質能力の向上に取り組むとともに、学校組織の活性化を図る。」

変更なし。

コ「教職員の多忙解消のため、業務改善を推進しつつ、事務を適正かつ効率的に執行する。」 変更なし。

議長から説明に対して委員に質疑応答等の意見を求めた。

【質疑応答】

(岩田副会長)

国際交流について、海外研修の案内はどのように行っているのか。

(校長)

昨年度から海外研修「三南の翼」を再開し、今年度はマレーシアに行く予定である。11人応募があり、7人に決定した。同窓会と後援会に支援をいただき、教員等2人で引率する。

(植野委員)

生徒の自主性を伸ばした教育をしている。登校風景を見ていても、三島南高校の生徒は、とても穏やかな表情をしており、学校生活が満たされているのだと思う。

(大嶋会長)

カジュアルデーは誰の発案なのか。

(校長)

発端は昨年夏のエアコンの不具合からであるが、生徒に体操服など制服以外で過ごすのはどうかと聞いてみたところ、ぜひやってほしいという回答であった。運営委員会で協議したところ、生徒課長から他県で私服登校しているところがあるという情報を聞き、本校でも取り入れることができるかどうか検討を始めたという経緯である。

(宮内委員)

自分の子どもは3日間とも私服で登校した。いつもと違う環境が楽しかったようだ。服装も思ったより華美でなかった。

(寺村委員)

1日目は加入している部活動で話し合っ部ジャージで登校し、2日目は私服で登校した。夏も過ごしやすくなるのではと言っていた。

(大嶋会長)

自分で考えて、良いか悪いか判断することはとても大事なことである。

(岩田副会長)

テレビのニュースで見る感じだと、華美でなくむしろ地味目で落ち着いた服装であると思った。夏はどうか気になる場所である。

(大嶋会長)

部活動未加入者については、学校外で専門的なスポーツをやっているなど、何か加入しない理由があるのか。

(校長)

そういう生徒もいると思う。まだ調査はしていない。

(宮内委員)

部活動がやりたくて入ったようなものなので、加入しないことは考えていない。未加入の生徒は何か条件があるのか。

(副校長)

条件はないが、学校からの働きかけとしては、何か自分を高めるような活動を探す

よう促している。

(大嶋会長)

未加入の生徒が孤立しないような工夫や対策をしてほしいと思う。

また、三島南高校は部活動に興味があって入学してきた生徒も多いと思うがいかかか。

(副校長)

生徒になぜこの学校を選んだかというアンケートをとると、1番目は「校風が気に入ったから」で、2番目か3番目に「部活動に興味があったから」という回答がある。

(岩田副会長)

部活動加入人数が減ると、活動費が少なくなったり、単独校で活動できなくなったり、これから大変になると思うがいかかか。

(校長)

本校も現在、女子ハンドボール部は沼津東高校と合同チームで活動している。

(大嶋会長)

学校に来るのが少し苦手になってしまっている生徒はいるのか。

(副校長)

今のところ、学校が嫌で不登校になっている生徒はいない。これから学期が進むにつれて、全国的に増える時期になると、可能性としてはある。

(植野委員)

小中学校は不登校が多い。高校生の一番の悩みは何か。

(校長)

どうしても適応できない生徒は高校でも一定人数はいる。現在は広域通信高校など、様々な学びの場があり、選択のハードルがかなり低くなっている。

議長は、委員に第1号議案「令和7年度学校経営計画書(案)」の採決を行ったところ、異議なく、全員一致をもって可決し承認された。

10 報告事項 (副校長)

(1) 校内分掌の説明

今年度生徒課を生徒支援課に名称変更し、生徒指導班と保健環境班の2つの班で構成することにした。

(2) 年間行事予定の説明

(3) 不祥事根絶取組計画の説明

(4) グランドデザインの説明

(5) その他 (新聞掲載記事報告)

議長から説明に対して委員に質疑応答等の意見を求めたところ、特に意見が無かった。

11 学校運営協議会の今後の予定

- 第2回 5月31日(土) 函嶺祭(文化の部一般公開)の見学と協議
- 第3回 11月8日(土) オープンスクールの授業見学と協議
- 第4回 2月(未定) 年間反省、学校評価、課題についての協議

12 閉会(岩田副会長)

会長挨拶にもあったように、学校運営協議会は「学校の応援団」として、これから1年間、学校の成長を見守っていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。